

コンピュータ機能を最新化し、 データインフラストラクチャを 変革すべき5つの理由

ワークモデルが変容し、企業が成功に向けて競争力の強化に努める中、IT運用の中核となるデータインフラストラクチャの最新化の必要性は多くの企業にとって最重要課題となっています。Aberdeenの調査によると、このIT運用の変革やデータ移行は、さまざまな面にメリットをもたらすことが明らかになっています。この記事では、企業がコンピュータ機能を最新化し、データインフラストラクチャの変革を最大限に活用すべき5つの理由を解説します。

- セキュリティを強化し、データに対する脅威を低減 - レガシーコンピュータインフラストラクチャの使用は、管理が複雑化し、データ統合機能を低下させることが多く、セキュリティリスクの増大につながるものが少なくありません。Aberdeenの調査によると、コンピュータインフラストラクチャを最新化し、セキュリティの自動化を強化することで、54%の組織がデータセキュリティの向上を実感しています。
- データの特性と価値の向上 - レガシーコンピュータインフラストラクチャでは、最新のクラウドネイティブテクノロジーやサービスを利用する機能が限られているため、データの価値や特性を十分に引き出すことができません。しかし、統合およびas a service機能が強化された最新のコンピュータでは、データの特性と価値が向上し、SLAを満たす可能性が80%高まります。
- アジリティの向上とイノベーションの促進 - データインフラストラクチャに関して言えば、アジリティは今流行りの単なるパスワードではありません。企業では、変化し続ける需要やテクノロジーへの迅速な対応が求められますが、レガシーインフラストラクチャには、そのために必要な柔軟性が不足しています。最新のコンピュータを導入することで、企業におけるIT運用のアジリティと柔軟性が向上する可能性が50%近く高まります。
- コスト削減と持続可能性の目標の達成 - 今日、成功を収めている企業は、古いソリューションの継続使用が、特に消費電力と信頼性の面で、コスト増加の原因となりうることを認識しています。しかし、高可用性と持続可能性を念頭に設計された最新のコンピュータインフラストラクチャを使用することで、企業のコスト削減と二酸化炭素削減目標の達成の可能性が高まります。また、インフラストラクチャへの投資を最適化できる可能性も6倍にまで高まります。
- 高パフォーマンスの実現 - 優れたパフォーマンスは、アプリケーションだけでなく、適切なデータの早期取得が大きく影響する意思決定やビジネスインテリジェンスにも不可欠です。クラウドネイティブテクノロジーがもたらす最新のコンピュータ機能を活用することで、企業のデータパフォーマンスの向上の可能性が55%高まります。